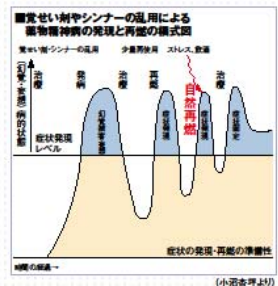
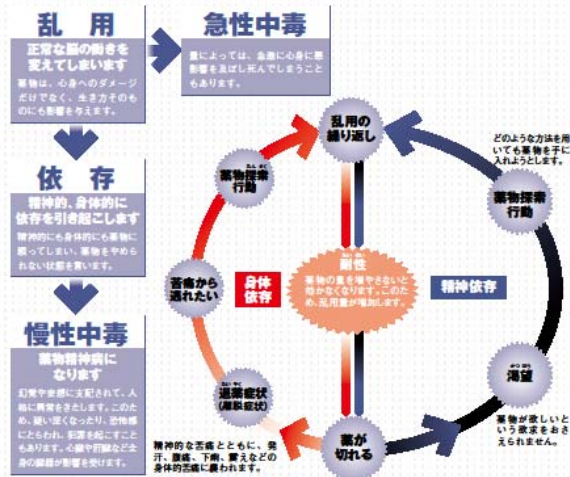


薬物乱用の悪循環



フラッシュバック

薬物を乱用していったん病的な状態になると、脳には薬物の記憶が残っていて、単に、ストレスを感じただけの場合でも薬物を乱用したときと同じような、幻覚や妄想が突然現れる場合があります。これをフラッシュバック（自然再燃）と言います、恐れられています。

また、ごく少量の薬物を乱用した場合や、飲酒しただけでもいきなり幻覚や妄想が現れる場合があります。

これらの経過を表したものが左の図です。

薬物乱用が及ぼす社会的影響とその対策

薬物が及ぼす社会的影響

- 1 家庭問題**
 - ①生活の乱れ
 - ②家庭内暴力、家庭の崩壊など
- 2 学校での問題**
 - ①欠席、学習不進歩
 - ②校内暴力
 - ③他の生徒への薬物乱用の拡がり
- 3 友人問題**
 - ①けんかを起こしやすく、友人・知人から離れ、孤立
 - ②薬物乱用仲間形成
- 4 職業及び経済問題**
 - ①怠業、失業などの職業生活の破綻
 - ②金銭問題の頻発と経済生活の破綻
- 5 犯罪**
 - ①薬物を手入手するための恐喝や窃盗などの事件
 - ②密売や乱用者による勧誘
 - ③乱用した薬物の作用に基づく凶悪な犯罪
 - ④暴力団の資金源となり、健全な社会を阻害

薬物乱用を取り締まる法律

●持っているだけでも罰せられます
●懲役刑など厳しい罰則があります

シンナー等 覚せい剤及び 覚せい剤類似物質 懲役1年	覚せい剤 覚せい剤類似物質 懲役10年	MDMA 覚せい剤及び 覚せい剤類似物質 懲役7年	大麻 大麻取締法 懲役5年
違法ドラッグ 覚せい剤及び 覚せい剤類似物質 懲役5年	コカイン 覚せい剤及び 覚せい剤類似物質 懲役7年	ふへん 覚せい剤及び 覚せい剤類似物質 懲役7年	ヘロイン 覚せい剤及び 覚せい剤類似物質 懲役10年

※罰則法律と最高刑（併罰目的の併発・併決）

